

## がん研究などに役立つ3次元培養アプリケーションと解析法

ゲノム・プロテオーム解析部門では今年度にライブセルイメージャー「MuviCyte」を導入しました。第2回 機器セミナーに続いて、ライブセルイメージングのプレートや試薬類に焦点を当てたセミナーを企画しました。本セミナー初めに当部門から MuviCyte も簡単にご紹介します。奮ってご参加ください。

演者：コーニングインターナショナル株式会社 ライフサイエンス事業部 江藤 哉子 様

**【1】2024年7月3日(水) 13:00~14:00**

参加方法：Microsoft Teams

参加申し込み：下記問い合わせ先に参加される方のご所属とお名前をメールでご連絡ください。  
ウェビナーURL を後日送付させていただきます。

1. ライブセルイメージャーで使用できる一般的なプレートのご紹介
2. 3次元（3D）培養テクノロジーのご紹介

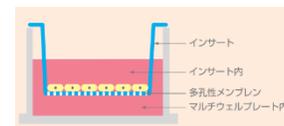
- A) 3D 培養の概略
- B) 3D 培養の技術① スキャフォールドフリー



細胞を播種するだけでスフェロイド形成を手軽に行える超低接着表面処理済みプレートは、3D ベースのアッセイ系構築にも活用しやすい製品です。ウェル中央に1スフェロイドを形成するスフェロイドプレート、ウェル底面に複数のスフェロイドが形成できる Elplasia プレートをご紹介します。また、新製品の Elplasia 12K フラスコや Elplasia 12K オープンウェルプレートの特長やアプリケーション例もご紹介します。

- C) 3D 培養の技術② スキャフォールドベース

オルガノイド培養をはじめとした3D培養に欠かせないマトリゲルには、様々なラインナップや周辺製品が揃っています。アプリケーション例も取り上げながら、知っているようで意外に知らないマトリゲルの種類と選択についてお伝えします。その他、3D培養で用いられるゲルについてもご紹介します。



## 【2】2024年8月27日(火) 13:00~14:00

参加方法：Microsoft Teams

参加申し込み：下記問い合わせ先に参加される方のご所属とお名前をメールでご連絡ください。

ウェビナーURLを後日送付させていただきます。

### 1. 細胞浸潤実験の基礎と注意点

がん研究で汎用される手法に細胞の遊走、浸潤があります。Transwell や Cell Culture Insert を用いたアッセイプロトコールと、その解析方法、注意点について解説します。

### 2. Corning マトリゲル基底膜マトリックスの取り扱いのコツ

マトリゲルは、癌や再生研究を始め様々な分野で活用されています。実験を始める前に知っておくと便利な取り扱いのコツをご紹介します。

【お問い合わせ先】ゲノム・プロテオーム解析部門 管理室

Tel : 086-251-7261 Email : [dgp@okayama-u.ac.jp](mailto:dgp@okayama-u.ac.jp)